



学校だより【2月号】

http://www.kuki-city.ed.jp/kuriminami-e/

平成31年1月25日

久喜市立栗橋南小学校

児童数518名



学校教育目標「考える子 やさしい子 たくましい子」

職人の技に触れる体験を通して

校長 鈴木美幸

暦の上ではもうすぐ立春を迎えますが、まだまだ厳しい寒さが続いています。「子供は風の子」と言われますが、寒くても登校するとすぐに校庭に出て、学級での長縄跳びや短縄跳びの練習に取り組む子供たちの姿に、たくましさを感じます。

久喜市内では、多くの小・中学校でインフルエンザが流行していますが、本校でも、成人の日の連休明けから、インフルエンザ罹患者が増え、学級閉鎖の措置を講じました。また、講話朝会は放送で行い、わんぱくタイムは連続して中止しました。今後も引き続き保護者の皆様の御協力いただきながら、感染予防に努めて参ります。

さて、埼玉県には、ものづくりに関して優れた技能、経験を有する方を「ものづくりマイスター」として認定・登録し、技能の継承や後継者の育成のために、学校等で実践的な実技指導を行う制度があります。本校ではその制度を活用して、1月25日（金）に、6年生が、ものづくりマイスターによる講義や、実際にもものづくりの体験をしました。当日は、子供たちの希望により「畳職人」「洋裁の達人」「パティシエ」「左官職人」の4つのグループに分かれ、磨き抜かれた技能のすばらしさと、ものづくりの魅力に触れることができました。子供たちは「見てるとできそうだけれども、やってみると全くうまくいかない。」と、話していました。そして、見事な手さばきに、これが職人の技であり、長い月日をかけて習得した高い技能だと実感していました。

現在、小学校において、キャリア教育の重要性が高まっています。キャリア教育とは、子供たちが、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることです。そのために、学校では教育活動を通して、学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を子供たちに体得できるように、様々な体験活動を実施しています。ものづくりマイスターをお招きした今回の体験では、日本の伝統的な技術や、子供たちが将来就きたい人気の職業を体験できました。将来、子供たちが体験した職業を選択しなくても、社会には多くの職業やそれに従事している方々があり、社会を支えていることに気付くことと思います。これまで通り過ぎていた建物の壁や塀で足を止めたり、ケーキのデコレーションをじっくり見たりするようになるかもしれません。そして、何よりも、子供たちが自らの生活と社会とのかかわりを多面的に考え、この体験がその場のことだけに終わらず、自分の将来や職業について考えるきっかけになると思います。

私どももさらに栗橋南小学校の教育活動を充実させ、子供たちが、自分が自分として生きるために「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていくことができるように、今後も指導・支援して参ります。

〔畳職人〕

〔洋裁の達人〕

〔パティシエ〕

〔左官職人〕



6年租税教室1月18日

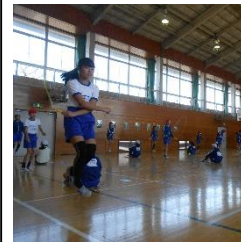
春日部県税事務所



6年生の社会科の学習の一環として、税に関する内容を御講義いただきました。身近なものに多くの税が関わっていることに驚いている様子が見られました。

校内なわとび大会1月22日

わんぱくタイムや体育の時間で取り組んできたなわとびの成果を出しました。学年ごとに決められた規定跳びと自分で選んだ自由跳びに取り組みました。



2月の主な行事予定

1	金	
2	土	・資源回収 ・まなびすと久喜
3	日	・まなびすと久喜
4	月	・読書(読み聞かせ4、5、6年)
5	火	・口座振替日 ・全校5時間下校 ・感謝集会 10:40～(体育館)
6	水	
7	木	・入学説明会 9:30 受付開始 ・委員会活動 5、6年
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日 久喜市なわとびフェスタ
12	火	・6年 琴体験
13	水	
14	木	・栗橋地区学校運営協議会、多目的室 ・3年煙体験訓練<校庭>※雨天時体育館 ・クラブ活動 4、5、6年
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	・読書(読み聞かせ1、2、3年) ・栗橋東中、栗橋西中入学説明会 6年
19	火	
20	水	
21	木	・3～6年クラブ発表会
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	・学級PTA 4、5、6、コ
27	水	・学級PTA 1、2、3
28	木	・6年進路学習会栗橋東中、栗橋西中 ・委員会活動 5、6年

みなみんの道徳コーナー

～考え、議論する道徳～

新しい学習指導要領のもとでは、「考え、議論する道徳」をめざしています。

左に示したのは、2年生の道徳「オレンジ色の木の実」の「深めよう」の場面です。「食べてはいけない木の実を食べてしまったマーくんを、どう思いますか。」「マー君に、足りなかった気持ちは何でしょう。」という問いかけで自分の考えを深め、その考えを友達との話し合いでさらに深めていきます。

御家庭でも、道徳の教科書をもとに、お子さんと「考え、議論する道徳」を行ってみたいはいかがでしょうか。

ふかめよう
木のはを食べてしまったマーくんをどう思いますか。
マーくんは、なぜ木のはを食べてしまったのかな。

さがそう
マーくんは、どんな気もちだったでしょう。

考えよう
マーくんに足りなかった気持ちはなんでしょう。

マーくんのようにならないために、どんなことに気をつけたらいいと思いますか。

活動
気をつけたいことについて、友だちと話し合ってみよう。

マーくんの気もちを考えよう